



2021年1月29日

各位

会社名 株式会社東京自働機械製作所  
代表者名 代表取締役社長 山本 治男  
(コード番号6360 東証第2部)  
問合せ先 経理部長 石原 英威  
(TEL03-3866-7171)

## 2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、業績動向を踏まえ2021年1月29日の取締役会において、2020年7月31日付で公表した2021年3月期通期業績予想を以下の通りとしましたのでお知らせします。

### 記

#### 1. 2021年3月期通期個別業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 200	百万円 300	百万円 165	円 銭 117.90
今回発表予想(B)	10,000	500	600	390	278.59
増減額(B-A)	1,000	300	300	225	
増減率(%)	11.1	150.0	100.0	136.4	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	12,337	778	936	642	458.80

#### 2. 修正の理由

包装機械事業におきましては、新型コロナウイルスの影響から受注が減少しており厳しい状況で推移しておりますが、新規大型案件の売上也寄与したこと等から前年とほぼ同程度の売上高を想定しております。一方利益面では、開発要素が多く原価高の機械の売上を予定していること、販売管理費の増加等から減益を想定しております。

一方生産機械事業におきましては、新型コロナウイルスの世界的影響を受けながらも、海外特定顧客向けの設備投資が堅調に推移しており、売上、利益ともに当初計画を上回る想定をしております。

包装機械事業、生産機械事業の両事業ともに新型コロナウイルスの今後の状況次第ではありますが、第4四半期会計期間(2021年1月～3月)において、抑制気味に推移していた開発費、広告宣伝費、設備修繕費等の発生が多く見込まれており、これらを総合的に勘案し、当事業年度の通期業績は、売上高100億円(前年同期123億3千7百万円、18.9%減)、営業利益5億円(前年同期7億7千8百万円、35.8%減)、経常利益6億円(前年同期9億3千6百万円、35.9%減)、当期純利益3億9千万円(前年同期6億4千2百万円、39.3%減)を想定しております。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以上